



発行者 **楽しい株式会社**

住所 北九州市若松区向洋町10番1

北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

ハチドリ通心(信)

2016年5月号

E-mail ceres@fun-c.jp http://www.fun-c.jp

“JICA 草の根事業”

マレーシア国フレーザーヒルの
生ごみリサイクルがスタート



JICA(独立行政法人国際協力機構; ジャイカ)草の根技術協力事業(地域経済活性化特別枠)の平成25年度補正で採択された「(マレーシア国)フレーザーヒル廃棄物管理改善事業」を、北九州市、(公財)北九州環境整備協会、ひびき灘開発(株)、楽しい(株)で、事業実施中です。

(期間 2014年11月14日~2016年11月13日)

http://www.jica.go.jp/partner/kusanone/tokubetsu/ma_03.html

弊社は、主に「事業系生ごみのコンポストセンター運用開始」に携わり、2015年12月3日より、現地(フレーザーヒル)のホテルやレストランなどの事業所から生ごみのみを75リットルバケツで分別回収し、コンポストセンターの運用が始まりました。

まず、生ごみ処理装置で、生ごみを1次発酵します。次に、生ごみ処理装置から1次発酵物を月に2回フレコンバックに取り出して、高圧空気を常時送り込み2次発酵を行い、1か月後にフレコンバックから取出し1ヶ月かけて3次発酵を行います。

堆肥化の3段階

- ①1次発酵(2週間)
- ②2次発酵(1ヶ月)
- ③3次発酵(1ヶ月)

※堆肥が出来るまでの期間は2ヶ月と2週間です。



(上)生ごみ処理機搬入
(左)時計台(街の中心)
(下)コンポストセンター



(左)ホテル、レストランで生ごみの分別
(右)生ごみの運搬



生ごみの計量



生ごみ処理機に投入



2次コンポスト



3次コンポスト



コンポストの実験(キャベツ、ハイビスカスほか)

★マレーシアから見学 (プトラジャヤ市長ほか)

4月1日(金)マレーシア国から連邦直轄領で行政新首都のプトラジャヤ市長(ダツー ハシム氏)ほか市役所関係者、廃棄物収集運搬を行う(アラムフローラ社)8名の見学者がありました。

プトラジャヤ市は、現在、人口7万人(昼間人口10万人)ですが、2025年には32万人に拡大する計画です。新首都ですので、街並みも綺麗で、ごみの散乱もほとんどありません。

見学では、現在の事業系生ごみを処理するにあたり、北九州と同程度の規模の施設が1カ所あれば、適切に処理できるであろうとの認識で、多くの質問も飛び交いました。



左から4人目:プトラジャヤ市長

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。
www.fun-c.jp/ をご覧ください。(松尾隆貴が担当しました。)